



自由民主党  
衆議院千葉  
第七選挙区支部長  
さいとう健



参議院議員(自由民主党)  
山本一太



# 生対談

第3弾!

次世代の政治家が描く、これからの政治のあり方とは？

俺たちにも言わせろ！

2008.5.25 SUN

会場：ザ・クレストホテル柏 13:00~15:00

参加費：500円

共催：山本一太参議院議員を呼ぶ会 日本創生の会 他

詳しくは、さいとう健事務所まで ☎04-7157-6223

今の政治は

駄目じゃないか!!

み越えてはならない一線と言うものがあるのではないかと。日銀総裁人事をそれに利用しようというのは、一線を越えた、まさに、「霸道の政治」です。更に言えば、もし、政府・与党の人事案を否定するならば、堂々と対案を提示すべきではないでしょうか。批判し、対案も出さず、あとは総裁が空席になっても知らないよという態度は、参議院で第一党の政党が取る態度ではありません。あまりに無責任です。一方で、道路特定財源をめぐる攻防は、これは、政策論ですから、大いにやりあいました。

私は、自民党の政治家ですが、これから10年間で59兆円を道路につきき込むという政策には組みしません。高齢化し、人口も減少してゆくこれからの10年、例えば、医者や病床の

数も増やす必要があるでしょう、社会福祉施設も重要です。そういうときに、59兆円という巨額の税収を基本的に道路に使うとするのは、いい政策とは思いません。

一方で、民主党の言うように、暫定税率をすぐに廃止して税率を下げろという政策も適当ではありません。極端な話、六本木ヒルズに住んで、ベンツを乗り回しているような方々にまで、税をまける必要があるのでしょうか。バラ撒きではなく、

3月末まで時間もありませんが、まず、暫定税率の期限切れによる国民生活の混乱回避を最優先に取り組

むこと、そして、両党でよく協議して、いい修正案を作り上げること、それが、「政治の王道」だと思います。民主党は、間違っても、混乱こそが政府を追い込むチャンスなどという「霸道の政治」を行ってはなりません。

衆参でのねじれ現象は、これからも続きます。残念ながら、日本の政界の混乱は続き、政策も停滞しがちになることが予想されます。そのようなときこそ、中国古来からの政治を見る視点、「王道と霸道」の視点が大切です。自民党の主張が「王道」なのか、民主党の主張が「王道」なのか。そういう視点を皆が持ちまないと、政治はどこまでも墮落してゆきます。

さいとう健は、常に「政治の王道」の観点から考え、政策を主張してゆく決意です。たとえそれが、自民党の主張と異なることがあっても、です。